

科目名	音楽基礎 1						年度	2025	
英語科目名	Basic Theory of Music 1						学期	前期	
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	野瀬 充弘		教員の実務経験		12年	実務経験の職種		音楽クリエイター	
【科目の目的】 音楽エンタテインメント業界に携わる人間にとって、音楽の学術的な側面・音楽の基礎理論を知る事は、仕事の質を向上させられるだけでなく、人間として・文化人としての教養という観点から見ても大切な要素であり、本科目において、その基礎部分を学んでいく。									
【科目の概要】 音楽・音響の仕事について、そして職種によってはその採用試験対策として必要な音楽の基礎知識およびコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面に関する知識を習得し、それらを読み使うことができること。楽典的知識および音楽用語、楽器に関する知識、音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ることなど多岐にわたる。座学的な内容に半実習的な部分を織り交ぜながら習得していく。									
【到達目標】 A、クレフの理解など五線譜に接するための知識を習得している。 B、インターバルとコードネームを理解している。 C、調性・調号、五度圏を理解している。 D、各種スケールについて理解している。 E、音名や反復記号などの読譜知識があり、ヒアリングによる採譜能力も習得している。									
【授業の注意点】 毎授業のテーマに沿って説明・実演しながら板書。各自わかりやすいようにノートをとってもらう。譜面に関する知識習得や慣れを目的としてヒアリングやリーディングの実習の取り組みも行っていく。各学期末に試験を実施する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	全てのクレフを理解し、実際のフルスコアを読むことができる。	大譜表を読み書きすることができる。	Gクレフや音符・休符を理解し、メロディ譜を読み書きできる。	各クレフ、音符・休符でわかるものとわからないものがある。	楽譜、五線譜に興味がない。				
到達目標 B	全てのトライアド・セブンスコードを理解し判別することができる。	トライアドコードは全て理解している。	インターバルはわかるがコードネームの構造はわからない。	インターバルの判定に時間がかかる。	インターバルについて全くわからない。				
到達目標 C	全ての調性の#とbを把握し調性判定ができる。	調号から何調かを判別できる。	五度圏を理解している。	12の調号があることを理解している。	調性とは何かわからない。				
到達目標 D	モードスケールを含め全ての調性で全てのスケールを把握できる。	五音音階など特殊なスケールも理解している。	調性とメジャー・マイナースケールの関係を理解している。	メジャースケールとマイナースケールの関係・違いがわからない。	音階・スケールというものがかかわからない。				
到達目標 E	ヒアリングによる採譜ができ、各種スコアもリーディングできる。	簡単なメロディであればヒアリングで採譜することができる。	反復記号を理解し、正しくリードシートを追うことができる。	音名や反復記号はほぼ理解したが、楽譜を追うのには慣れていない。	楽譜には何が書いてあるのか全くわからない。				
【教科書】 授業ごとにレジュメ等を使用する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									

期末試験と課題内容によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		音楽基礎 1			年度	2025
英語表記		Basic Theory of Music 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンスと導入	音楽理論とは何か？学ぶ目的と方法について理解する	音楽理論について	音楽理論とは何かを理解する		
			学習方法	学ぶ目的と方法を理解する		
2	音楽と音	楽音とは何か？音についての考え方・平均律と純正律について	楽音について	楽音とは何かを理解する		
			平均律・純正律	平均律と純正律について理解する		
3	音とリズム	リズム、拍子、音楽の鼓動、ビートなどについて理解する	拍子	拍子という考え方を理解する		
			ビートとリズム感	ビートによる音楽の鼓動を理解する		
4	インターバル①	音階と音程の考え方を理解する	音階	音階について理解する		
			音程	音程とは何かを理解する		
5	インターバル②	判定する方法を理解する	判定方法①	音程の種類を知る		
			判定方法②	音程判別方法を理解する		
6	インターバル③	特殊な音程と響き、コードを構成する音程について理解する	特殊な音程	特殊なタイプ、響きを持つ音程の理解		
			コードを構成する音程	特に3度を中心に理解する		
7	コード①	トライアドコードについて理解する	トライアドコードを知る	三和音の音程構造を理解する		
			トライアドコードを理解する	各三和音の響きと特徴を理解する		
8	コード②	セブンスコード、その他のコードについて理解する	セブンスコード	四和音について理解する		
			その他のコード	特殊な和音について理解する		
9	調性と調号①	テトラコードについて理解する	調性とは	音楽における調性について理解する		
			テトラコード	テトラコードについて理解する		
10	調性と調号②	五度圏と12音の関連を理解する	五度圏	五度圏とは何か理解する		
			12の調性	12の調性について理解する		
11	スケール①	音楽におけるメジャースケールを理解する	調性とスケール	調性とスケールについて理解する		
			メジャースケール	メジャースケールについて理解する		
12	スケール②	マイナースケール、その他のスケール・モードについて理解する	マイナースケール	マイナースケールについて理解する		
			その他のスケール	五音音階ほかを理解する		
			モードスケール	モードスケールについて理解する		
13	音楽用語と音名	各国の音名の呼称および音楽用語について理解する	各国の音名	英語・イタリア語・ドイツ語などの音名を理解する		
			色々な音楽用語	楽譜に用いられる音楽用語を理解する		
14	スコアリーディング	反復記号と楽譜進行について理解する	反復記号	各種の反復記号について理解する		
			楽譜の凡例	実際の楽譜の進行について理解する		
15	復習確認と試験説明	前期全体の確認と試験について	前期の確認	前期の内容を確認する		
			試験説明	期末試験の出題方法を説明する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等